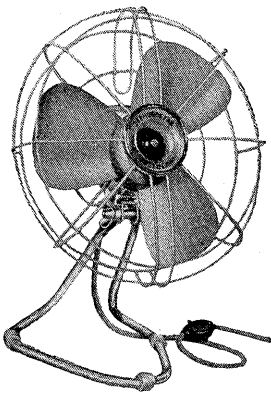


XX. 家庭用品その他

Household Appliances and Others

XX. 1 扇 風 機 (Electric fan)

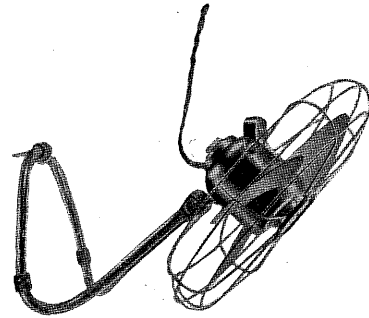
我国における扇風機製造技術の進歩は年々増大する需用にこたえるべく外観とくにデザインの面に主眼を置いて飛躍的發展をしつつある。すなわち扇風機需用の時期となれば多くの機種を店頭に並べおのおの特徴を宣伝しているが、いずれも内容の点において目新しいものは余り見受けないうのである。当社においては扇風機界の革命児ともいわれる独得の構造を有した卓上および壁掛姿勢共形態を千変万化できるゼフロス扇風機を製作し、扇風機の今後のあり方を示した。さらに1本のパイプで連結した床置型を製作し衆望にこたえた。戦前古くから優秀な性能と技術的良心をもって製作されているサイレント扇風機は当社の自慢とするものであるが、最近は電気的特性の改善と共に外観のデザインをぞん新な流線型にして完べきを期した。機種は卓上型では30 纏および40 纏とし、さらに40 纏の床置型を製作している。



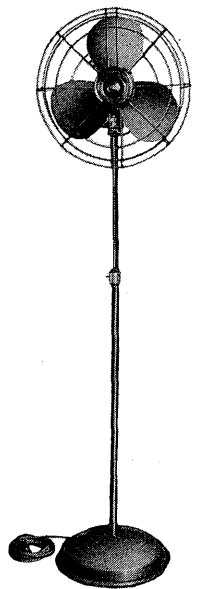
第 XX.1 図
ゼフロス扇風機 (正常位置)
Fig. XX.1
Zephyros fan
(normal stand)

サイレント扇風機特性表 (100 ボルト)
Table XX.1 Characteristics of silent fan

型	ノ チ	周波数 (\sim)	入力 (W)	電流 (A)	力率 (%)	回転数 (毎分)	起動 電圧 (V)	風速 (米/分)	風 量 立方米/分
三 〇 纏	1	50	23	0.255	90.3	945	57	200	37
	1	60	29	0.31	93.5	1,040	60	222	47.7
四 〇 纏	1	50	38	0.44	86.4	900	35	273	64.5
	1	60	49.5	0.54	91.7	970	39	300	74



第 XX.2 図 ゼフロス扇風機 (壁掛)
Fig. XX.2 Zephyros fan
(wall hanging)



第 XX.3 図 ペDESTAL扇風機
Fig. XX.3 Pedestal fan

サイレント扇風機の特徴の主なものを次に述べる。

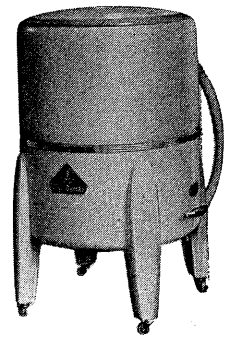
1. 羽根は3枚とし、速度は6極電動機であるから回転数が低く騒音が少ない。しかも風速風量は断然多い。
2. 電気的性能が優秀である。すなわち消費電力はわずかに25 W (30 纏) で、力率は85%以上となっている。
3. 電動機は密閉型であるから塵埃が入らず保守が容易であり、軸受の注油は年1回で良い。
4. 電動機のコードは外部に出ないから体裁が良い。

XX. 2 電 気 洗 濯 機 (Electric washer)

当社の電気洗濯機は洗練されたスマートな外観を有し、構造全般に亘り特別な考慮を払った設計をしており堅ろうにして使いやすく出来ている。最近洗濯機は家庭

における必需品として、需用はますます増大している
 よりから使用電動機 100 W 以下に対して免税となり本格的
 実用段階に入ったので、さきに W461 型の電動機を更
 新して出力 100W とし、W 462 型として衆望にこたえる
 ことにした。特に W462 型においては使用者の便を考え
 電氣的特性の改善に主眼をおいて製作している。すなわ
 ち冬季 60 ~ 地区においても電源電圧が 80 V まで降下
 した際容易に起動するようにしている。

当社においては W462 型を製作するかたわら廉価にて
 優秀な製品を試作研究中であったが好結果を得たので普
 及型として W361 型の量産を進めている。



第 XX・4 図 W 462 型電氣洗濯機
 Fig. XX・4 Electric washer type W-462

XX. 3 そ の 他 (The others)

当社は商品部門を一層強化するために、東光電氣株式
 会社、東京電氣化学株式会社および株式会社館山製作所
 にそれぞれ資本参加してその製品の販売に当たっている。
 その製品はおおむね次の通りである。

(1) 白熱電球、螢光燈その他 (Incandescent lamp, fluorescent lamp etc.)

東光電氣のトウランプは、電球業界では最も有名で、
 確実な販路を有するが、昭和 28 年 7 月、当社と販売提
 携の契約が成立し、以来当社の販売網においても販売実
 績は逐次向上しつつある。螢光燈もその品質は定評があ
 り、販路は急速に伸びている。この外家庭用品としては
 既に電氣アイロンを市販している外、近く新鮮な意匠を
 もって電氣七輪、電氣ストーブ、トースターその他を続
 いて発売する計画である。以上の外東光電氣の製品に
 は、本邦唯一の電氣塗装による研磨布、紙「トウラング
 ム」、超硬合金工具等があり、これ等商品部門の取扱機
 種増加は、顧客に対するサービスを一層強化するのに非
 常に役立っている。

(2) 乾 電 池 (Dry cell)

東京電氣化学の乾電池は、電解二酸化マンガンを使用
 して性能がきわめてすぐれている。官庁、会社で多量に
 購入される際は、厳密な規格検査を受けることがある
 が、常に優秀な成績をおさめ、技術的に最もすぐれてい
 る点は業界の定評がある。「富士電機乾電池」は昭和 28
 年 9 月より発売したが、それ以来月ごとに販売量を増加
 している。

乾電池の需要は今後ますます増加することが予想され

ているが、特に無線部門に需要の多い積層乾電池に対す
 る期待が大きい。通常のマンガン乾電池と異り、積層乾
 電池は高度の技術を要するので、製造業者の数も少いが
 当社の最も得意とする機種である。

(3) 小型消防ポンプ (Fire pump "Mascot")

手動ポンプでは火急備えに不十分、自動車ポンプとな
 ると予算の点で困難、ここに近代消防の花形として小型
 消防ポンプが時代の脚光を浴びている。館山製作所製の
 「マスコット」は小型にして優に自動車ポンプに匹敵す
 る強大な性能を有し、エンジンメーカーとして 60 年の
 歴史を誇る館山が絶対の自信をもって世に問う新製品で
 ある。

当社が「マスコット」の販売を開始したのは昭和 27
 年 11 月で、販売態勢も逐次整備され、需要漸増の傾向
 にあり、一方館山の生産面も急速に上昇した。

「マスコット」は小型軽量取扱簡易に設計されている
 が、

1. 最大出力 25 馬力 (検定馬力 17.5 馬力)
2. 最大圧力 120 封度 (正現圧力 80 封度)
3. 放水量毎分 200 ガロン以上

四階建のビルの大火災をも難なく鎮圧する能力を持って
 いる。

「マスコット」は国家消防本部の検定品であるが B 3
 級合格機という小型消防ポンプ中最高のものであり、ま
 た規定によって火災保険料 5% の割引を受けることもで
 きるので需用家に大きな魅力となっている。

「マスコット」の需用層は学校、会社、工場はもちろん
 ん消火の本職である全国の消防団、地方町村に至るまで

広い範囲に亘り、大都市消防の場合も自動車ポンプと共通のホースを採用しているので、消防車に搭載すれば2台分の働きをしたり、消防車の入れぬ狭い所まで「マスコット」なら前進可能とか、遠い水源よりマスコットと

自動車ポンプとの連結給水とか、多くの長所がある。

“火事は最初の1分間”・“近代消防は「マスコット」から”を合言葉として国家的重責をになう「マスコット」が全国至る所で愛用されるよう祈ってやまない。

獨の十万キ口級発電所

西独逸の発電所設備は 1952 年来現在で公共用のもの 868万kW、自家用 480 万 kW 合計 1,350 万 kW ある。その 1952 年における発電量は公共用自家用合せて水力によるもの約 99 億 kWh (17.6%) 火力によるもの 463 億 kWh (82.4%) 合計 562 億 kWh である。

発電所の総数は 1,000 kW 以上のもの合計 330 その中 10 万 kW 以上のものをあげると合計 29 でその内訳は火力 23 水力 6。火力は石炭使用のもの 19, 褐炭使用のもの 4, 水力発電所は

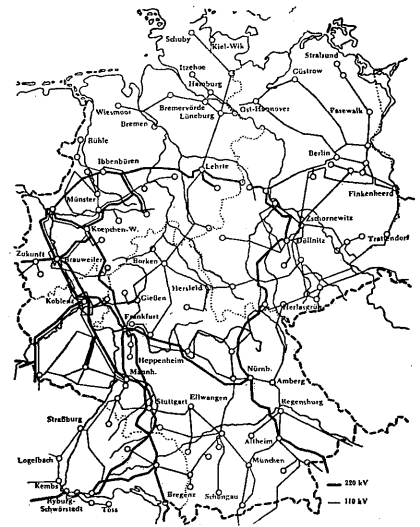
発電所名	kW	所属会社名
Haeusern	114,000	Schluchseewerk
Koepchenwerk	116,600	RWE
Ryburg-Schwaerstadt	108,000	Kraftwerk Ryburg Schwaerstadt
Waldeck	115,200	Preussenelektra
Waldhut	160,000	Schluchseewerk
Witznau	190,000	"

でこの中 Ryburg-Schwaerstadt を除く 5 箇所はいずれも揚水発電所となっている。——独逸電力協会 1952 年の統計による——

獨逸の超高圧送電線

独逸の高圧送電線の亘長は、400 kV のもの 1,289 軒、220 kV のもの 4,701 軒、110 kV のもの 11,220 軒、ただし 400 kV のものは Brauweiler Mannheim 間 255 軒から 300 kV で運転されている以外は未だ 220 kV で運転されている。

図の太線は 220 kV 送電線、細線は 110kV 送電線を示す。220 kV 線が我国の 140 kV 線、110 kV 線が我国の 70/60 kV 線に相当する訳である。220 kV 線は 64



区間(いずれも大体並行 2 回線)に分たれ内亘長 100 軒内外から 200 軒に達するものが 22 区間ある。——数字は 1949 年の独逸電力協会の統計による——

(技術部技術課)

富士時報

昭和 28 年 12 月 20 日 印刷

禁無断転載

第 27 卷 第 1 号

昭和 28 年 12 月 25 日 発行

非売品

編集兼発行人
印刷者
印刷所
発行所

前田七之進
水野勉
東京都中央区入舟町 2 丁目 7 番地
株式会社 水野写真工芸印刷所
東京都千代田区丸の内 2 丁目 6 番地
富士電機製造株式会社内
「富士時報」編集部
電話千代田(27)1251~6



*本誌に記載されている会社名および製品名は、それぞれの会社が所有する
商標または登録商標である場合があります。